



↑ブリを手渡され、笑顔を見せる利用者の皆さん（桃源郷）

年末恒例の施設慰問

お正月はブリを食べて

12月9日、東町漁業協同組合青壮年部（須寄隆文部長）による、年末恒例となった町内福祉施設へブリのプレゼントがありました。

プレゼントは特別養護老人ホーム桃源郷、老人福祉施設あかね園、グループホームスマイル園、養護老人ホーム長生園、特別養護老人ホームさざ波の5施設で、同漁協から、この時期旬となる「^{ふりお}鰯王」を届けました。

須寄部長は「真心こめて育てたブリです。お正月に食べてください。いつまでもお元気で」と手渡しました。施設の利用者からは「嬉しい。早く食べたい」と声があがりました。

図書券を町へ寄贈

お世話になった町へ恩返し

出水市で建設業などを営む、株式会社小畑商店（小畑みち子代表取締役）が、12月5日、町へ図書券を寄贈しました。

この日は、代理で池田秀一専務が町長室を訪ねました。同社は小畑末満先代社長が蔵之元地区出身ということもあり「長島町にはたくさんお世話になった。恩返しをしたい気持ちと、子どもたちに夢を与えたい」という小畑先代社長の思いを池田専務が代弁し、町を代表して川添健町長が「ありがたく頂戴します。子どもたちの教育のため活用します」とあいさつしました。



↑川添健町長に図書券を手渡す池田専務

高齢者と福笑いをして楽しむ児童ら↓



地域とのふれあい活動

閉校しても地域との交流は続く

獅子島小学校（日高好治校長）では、統合後も地域の人たちと交流を多く持ちたいという目的で、12月12日、3・4年生7人が幣串地区の老人会とグラウンド・ゴルフをして、楽しいひとときを過ごしました。

13日には、1・2年生8人が御所ノ浦コミュニティセンターで、デイサービスを利用している高齢者と風船バレーや、福笑いを楽しみました。

4年生の荒田美子さんは「久しぶりに幣串のおじいちゃんたちと、グラウンド・ゴルフができて嬉しかった」と話しました。